

# 天文館貫く緑の帯



JR鹿児島中央駅方向から見た電車通り。街を貫く緑の帯が鮮やかさを増しつつある

## おはら祭に新たな彩り

市電軌道敷  
芝生化進む

鹿児島市が取り組んでいる市電軌道敷に芝生を植える工事が、新たに高見馬場電停から市役所前電停付近まで完成し、天文館の街並みを貫く緑の帯が、日ごとに鮮や

かさを増している。

今月中旬までに植えられた芝生には現在、保温・保湿用の砂がまかれていて養生の真っ最中。市電が運行を終えた夜間に散水し、根

の定着を図っている。場所によって成長の度合いは違うが、新芽が目立ち始めた。

二〇〇六年度に整備した鹿児島中央駅―高見馬場間と合わせ、延

長約千五百六十坪が完成。本年度末までには鹿児島駅までの残り約二百六十坪部分も整備を終える。

市は十一月二、三日のおはら祭に整備を間に合わせるため、作業を急ピッチで進めていた。市公園緑化課の塚田称也課長は「今年はいままでと違った舞台で楽しんでもらえると思う」と話している。